

E

ELDER

エルダーの旅便り

2006
春号
2月~5月
プログラム

エルダー旅倶楽部 世界を舞台に楽しく学ぶ大人の教室

通巻177号

地球が学び舎 グローバルキャンパス2006

新たな年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いたします。さて、今年新たにスタートする事業について簡単にご紹介いたします。

新たに始まる「ジャパン・プログラム」

今年から新たにスタートするプログラムのひとつが海外から日本を学ぶために来日するグループのための講座です。私たちはこれを「ジャパン・プログラム」と名づけました。

4月には北欧フィンランドから、そして10月にはオーストラリア／ニュージーランドから日本を学ぶためのグループが来日を予定しています。

この新しい企画がスタートするにあたって、本誌前号でもお伝えいたしました。会員みなさまには来日グループと交流を深める各種プログラムへのご参加をお薦めしたいと思います。①見学時のサポート、②文化交流のお手伝い、③ホームビジットの受け入れ、などにご関心をお寄せの方は、旅倶楽部・事務局までご連絡をお待ちしています。

個人留学のサポートをはじめます

昨年度も少し実験的にご案内したことがありましたが、英語を学ぶための個人留学のお手伝いを本格的にはじめます。これまで、ハリファックス(加)やチェスター(英)、ケンブリッジ(英)で行われてきた英語講座は、エルダーのグループのために特別編成されたプログラムでした。しかし各ホスト校には、一般に開放しているコースもたくさんあります。そこで、エルダーの英語講座ホスト校が開催する「一般コース」のなかからおすすめコースをいくつかご紹介し、その参加手続きを旅倶楽部・事務局がサポートいたします。ひとりで長期滞在してじっくり英語を学びたいという方には最適ではないでしょうか。詳しくはP5下段をご覧ください。

まったく新しいコンセプト「地域との連携」

これまで「エルダーの旅」は国内外の大学や教育機関などとの提携によりプログラムを編成してきました。今年にはさらに一歩進んで、国内をはじめネットワークのある世界中の「地域とのつながり」を強化していこうと考えています。

今年の秋に予定していますカナダ西海岸の街との交流プログラムは、この流れに沿った新たな取り組みのひとつです。都市と都市との交流ですと、姉妹都市交流となりますが、エルダー旅倶楽部の会員と自治体(もしくは地域)との信頼関係を築いて交流を深めようという、まったく新しい考え方です。信頼できる地域を選び、信頼できる人をお願いをして、エルダー会員を受け入れていただくという、これまでにない新たなコンセプトです。

グローバルキャンパス・ジャパン

エルダー旅倶楽部の英語名は「Global Campus JAPAN:グローバルキャンパス・ジャパン」といいます。今後、異世代いっしょに参加できるプログラムなど世代を超えて参加可能なプログラムなども行いますので、そうした際にこの名称も組織の愛称として使っていきたいと思えます。「エルダー旅倶楽部」同様、「グローバルキャンパス」もお見知りおきくださいますようよろしくお願いいたします。

世界を舞台に「学びと冒険」をお楽しみいただける魅力的なプログラムを今年もがんばって企画しますので、どうぞご期待ください。

大社 元
Mitsuru Okaso

エルダー旅倶楽部・理事長
東京・渋谷に20年近く暮らす関西人。ジャパン・プログラムが始まるのを機に英語落語を練習する気になっている。2男3女の父。



今年も「人と人」、「人と地域」をつなぎ、出会いがたくさんある講座を企画します

